

みやぎ情報活用ノート 情報活用能力の育成カリキュラム（中学校編）

このカリキュラムは、文部科学省が示す新学習指導要領の趣旨を踏まえ、情報活用能力の育成に関する指導項目の概要を整理した「情報教育推進校（IE-School）における実践研究を踏まえた情報活用能力の体系表例」を参考にしながら、学校でより具体的に育成に向けて取り組むことができるよう4分野に分類しています。

要素	概要	学習内容
 活動スキル	コンピュータや図書などのさまざまな情報手段を活用するための基礎的な知識・技能	A1:記録と編集 A2:PCの操作 A3:ウェブ検索 A4:図書利用 A5:インタビュー A6:アンケート A7:メモ A8:口頭発表
 探究スキル	収集した情報を精査し、整理・分析し、まとめ・表現する際に働く思考・判断・表現力	B1:取捨選択 B2:読み取り B3:創造 B4:伝達内容の構成 B5:表現の工夫 B6:受け手の意識 B7:学習計画 B8:評価と改善
 プログラミング	問題解決の手順を理解し、コンピュータの特性をいかして思考・判断・表現する力	C1:物事の分解 C2:情報の分類 C3:情報の関連付け C4:問題解決の手順 C5:試行錯誤 C6:データの傾向 C7:情報技術の将来
 情報モラル	情報社会や情報手段の特性の理解と、安全かつ適切に情報手段を活用しようとする態度	D1:コミュニケーション D2:法と権利 D3:健康と安全 D4:ルール、マナー D5:セキュリティ D6:個人情報 D7:情報社会の将来

ワークシート活用に当たって

各ワークシートは、子供たちに身に付けさせたい情報活用能力について、発達の段階に応じて活用できるよう、作成しています。順番に使用する必要はありません。学習のねらいに合わせて、ワークシートを自由に選んで活用ください。また、一部の設問のみを使用することも構いません。指導例を参考に、あらゆる教科で自由に活用していただくと幸いです。

情報活用能力の具体・本書掲載の実践事例		
1 学 年	2 学 年	3 学 年
情報を集めたり、発信したりする際、適切な手段を選んで活用することができる。		
A4 国語「情報の集め方を知ろう」 図書や新聞で調べよう	A6 特別活動「適切なアンケートを作ろう」 アンケートを作ろう	
情報の収集・編集（整理・分析や表現）・発信の過程を自ら組み立て、状況に応じて評価・改善することができる。		
B8 総合的な学習の時間「振り返りの活動」 学びを振り返ろう		B5 理科「自由落下」 メディアを組み合わせて表現しよう
コンピュータを使った問題解決や表現活動を通して、情報技術の価値を社会や自らの将来に関連づけて考えることができる。		
C3,C4,C5 数学「加法と減法の入り混じった計算」 トランプランダム抽出プログラム	C6,C4,C5 数学「確率」 サイコロの1が出る確率を調べるプログラム	C5,C3,C4 数学「標本調査」 無作為抽出プログラム
情報社会の価値や課題を認識し、情報手段の適切な活用や啓発に積極的に取り組もうとする。		
D7 技術科「情報の技術」 情報社会の発展とモラル	D5 家庭科「私たちの消費生活」 アカウントを作成するときは	D6 道徳・総合的な学習の時間 写真を公開する前に